



20周年目前、 HD化視野に展開加速

(株)ジャパロジ

いでりは
出利葉 勝則 社長

うきは市(旧浮羽郡浮羽町)出身。
1953年11月7日生まれの65歳。藤
蔭高校卒。趣味はゴルフ、寺院巡り



域を広げ、無料診断といった他社との差別化で事業を拡大してきた。16年には、券売機などを販売する(株)エルコムジャパン(旧エルコム西日本)をM&A。キャッシュレス化の波によりICカード対応機器などを中心に販売が加速しており、大型案件を受注するなど好調に推移している。

一方で今年4月からは、部品検査・選別代行の事業部も発足。今後は事業の基盤が整い次第、すでに自動車部品メーカーが集積する宮若市に賃借しているテナントに移り、新拠点として稼働していく計画だ。「お客さまのさまざまな困りごとに寄り添って、最善のサービスを提供してきた。今回の新事業を新たな柱として注力していきたい」と意気込む。

「お客さまの物流コスト削減など目に見える成果はもちろん、働きがいややりがい、安心・安全など、お客さまや従業員に対して『無形効果』をもたらしこことができる企業であり続けたい」と抱負を語るのは、物流コストダウンの企画設計やマネジメント、アウトソーシングなどを手掛ける(株)ジャパロジ(福岡市博多区東比恵3丁目)の出利葉勝則社長。

同社は、2000年に物流コンサル業で設立後、人材派遣、アウトソーシング事業と業務領

来々年20周年を迎える同社。現在は4社の協力会社を保有しており、2022年にはホールディングス化を目指すという。「グループ売上100億円に向け事業を拡大していきたい」と意気込む出利葉社長の挑戦は続いていく。